

## —グローバルCOE分子の自己組織化シンポジウム



國武名誉教授による特別講演の風景

平成23年12月10日（土）には、同じく伊都キャンパス稻盛ホールで、同年秋の叙勲で、瑞宝重光章を受章された國武豊喜先生をお迎えし、「グローバルCOE分子の自己組織化シンポジウム2011」を開催しました。国内他大学より岡畑恵雄教授（東京工業大学）、栗原和枝教授（東北大 学）、下村政嗣教授（東北大学）、佐野正人教授（山形大学）が招聘され、本G-COE拠点からは中嶋直敏教授（九州大学）、君塚信夫教授（九州大学）

の講演が行われた後、國武先生より「自己組織化の化学—40年の軌跡」と題する特別講演がなされました。G-COEの最終年度となる本年度、分子の自己組織化をテーマに、同研究の草分けである國武先生をお招きして、シンポジウムを開催できたことは、たいへん記念すべきことです。学外から多く集つたシンポジウム参加者102名も、國武先生が創成確立された“分子の自己組織化”概念が、錯体化学、物理化学、生物化学やナノマテリアル化学を含む化学全般に広がり、高度な機能をもつ様々な分子材料を創製する学問として発展した姿を目の当たりにできたと思います。G-COEとしての研究は本年終了しますが、この分子の自己組織化の概念は脈々と受け継がれ、G-COEの成果の一つとして設立された“分子システム科学センター”を通して、今後も世界に向けて分子組織化学の新展開が発信され続けることでしょう。

（「未来分子システム科学」

グローバルCOE事務室）

